

令和2年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市島原老人デイサービスセンター

1 施設の管理運営

営業日：月曜日～土曜日（但し、12月31日～1月3日は休日） 営業時間：8：30～17：30 1日の定員：38名 【研修の充実】 研修計画に基づき、主に内部研修（実務に連動させた内容、個別ケースの対応に繋がる内容を中心として）、質の向上を図っている。 【事故予防】 ヒヤリハットや事故報告書の作成を継続し、その都度ミーティングにおいて報告、事故の原因を考え、再発防止策を検討、職員間に周知している。 【感染症対策】 看護師が主導し、マニュアルに沿った消毒方法を実施。不潔、清潔を明確に区分し、予防を図っている。 【自主点検の実施】 介護保険自主点検は勿論、毎月、任意の点検表を使用し、各個人情報、ファイルを点検し、必要書類の確認を徹底している。 また、所定様式にて、毎年度7～8月に自主点検を実施。
（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

2 事業実施内容

管理運営事業内容を基本として事業実施。 平成18年4月より介護予防通所介護事業を実施。 平成19年5月より午前、午後に分けての入浴実施に伴い、個別リハビリ・個別レクリエーションの取り組みを実施している。 平成23年度以降は、個別的なレクリエーションを計画的に年間で開催している。 平成24年度以降は、ボランティア様を含め、外部の方、地域の方との交流を内容としたレクリエーション、行事を段階的に実施している。 平成25年度以降は、個別レクリエーションを更に充実させ、定例化している。 平成26年度は、季節感を大事にした行事を年間で開催し、実施。 平成27年度は、地域の保育園へ行き、園児と交流する行事を実施し、地域・世代交流を実現。 平成28年度は、更に個別的なレクリエーションを実施するとともに、機能訓練を目的とした外出行事もより個別的に実施することで、心身の機能向上を図ってきた。 平成29年度は、総合事業の目的を職員間で共有・確認し、既存の介護保険サービスに加え、その趣旨の理解を職員に促している。 平成30年度は、開設から17年を経て、各設備の不具合が続く中、再度、各設備、備品の状態を把握し、適切に修繕対応できるよう、努めた一年であった。 平成31年度（令和元年度）も、昨年度に引き続き、設備関係の対応に努めた一年であった。特に、この数年、課題となっている空調設備への対応が必須となっている。酷暑が続くこの数年は、あらゆる手を尽くしているが、構造上、室温が下がりにくく、ご利用者に一日過ごして頂く環境としてはやや厳しくなってきた。 令和2年度は、コロナウィルス感染予防を重点項目とし、例年通りの運営が難しい状況が続いている。
（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容
（参考）自主事業内容

3 サービス提供状況

管理者（兼）相談員 1名 相談員（兼）介護職員 2名 機能訓練指導員（兼）看護師 2名 介護職員 6名 事務員 1名 調理師（業務委託） 2名
（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

4 市内中小企業への発注に対する考え方

既存の大規模な保守契約以外の設備修繕は、市内中小企業に発注するようにしている。

5 施設の利用状況(施設の稼働率, 利用者数, 事業参加者数など)

(1) 年間 延べ利用者数 (実績値)

6,609 件

(2) 年間 実利用者数 (実績値)

933 人

(3) 収支実績

ア 令和2年度収入状況(単位:円)

介護保険収入	55,444,702
利用料収入	4,303,000
委託料収入	0
補助金収入	1,192,000
寄付金収入	0
雑収入	0
その他	0
収入計	60,939,702

イ 令和2年度支出状況(単位:円)

人件費	49,690,381
事業費	7,987,141
委託費	5,003,828
小額修繕費	317,256
その他	8,807,362
支出計	71,805,968

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

サービス提供内容のうち、実施行事、各レクリエーションについて、ご意向、満足度を伺う。

(2) 利用者満足度把握の結果

昨年度と同様、機能訓練を目的とした外出行事やレクリエーションに関する満足度が最も多かった。その理由としては、ご自宅での生活の中では、ご家族の支援でも、なかなか日常的な外出の機会が少なく、閉じこもりがち。デイサービスを利用し外出の機会を確保するといっても、やはり、屋内での活動となり、季節を感じることも難しい為、外出行事は有難いとのご意見が多く聞かれた。個別的なクラフトレクリエーションのご意向も継続して多く、更なる内容の充実を期待される声が多い。

(3) 意見等への主な対応状況

今年度の行事、レクリエーション計画に上記を反映(しかしながら、コロナウイルス感染拡大の状況にて、一旦すべての外出行事を中止し、人気の高いクラフトレクリエーションに変更)。クラフトレクリエーションについては、担当者を増員し対応。

7 その他特記事項

(1)

--

(2)

--

8 評価（指定管理者自己評価）

同種事業所が多いことによる稼働率の伸び悩みと、ご利用者の要介護分布が軽度化していることにより、収支は厳しい状況が続いている。各設備は、開設から17年が経ち、経年劣化が目立ち、応急処置的な修繕も増えている。空調については、今後、計画的な対応が必要と考える。

一方で、長くこの地域で活動してきたことで、周辺の方々にも明確に認知して頂き、来客も多い状況を見ると、開かれた施設として、デイサービスセンターの機能を果たしていると考え。実際のご利用者層をみても、過去に当デイサービスをご利用されていた配偶者や親御様を介護されていた方で、ご自身が実際に介護が必要となった現在、当デイサービスのご利用を希望して下さるなど、それぞれの関係が継続出来ている。長期間活動してきたことで、それぞれの世代が変わっても、地域の方々の生活支援にこのセンターが機能していると評価できる。

また、心身のご状態が悪化しても、差別されることなく、住み慣れた地域で、それぞれが望む暮らしが継続できるように支援することが事業の大きな目的であり、そのことが、法人理念、並びに組織独自の理念であることを研修を通し、各職員に指導している。